

2026
(水)
3/4

14:00~16:00
企業連携講座

AI・監視システムで実現する 現場起点の省エネ・脱炭素

◆ 熱源制御とエネルギー監視による
実装アプローチ

WEBセミナー **LIVE** 配信

■主催：一般財団法人 省エネルギーセンター ■協賛：東京ガス 株式会社

我が国でGXの推進が加速する中、現場レベルでの省エネ・脱炭素の実装がこれまで以上に求められています。本セミナーでは、AIや監視システムを活用し、既存設備を活かしながら省エネ・脱炭素を進める実践的なアプローチを紹介し、構想から導入、運用・管理までを見据えた視点から、現場で活かせるヒントを分かりやすく解説します。

定員
200名
(先着順)

受講料
無料

カリキュラム

※本セミナーは、Web 会議・セミナーツール「Zoom」による Live 配信のセミナーです。

接続の開始は13時50分頃からを予定しています。(内容やタイトルが変更になる場合があります)

講演1

30分

現場から始める省エネ・脱炭素の全体像

— AI・制御・監視を組み合わせた実装の考え方 —

省エネ・脱炭素の取組みは、個別技術の導入だけでは十分な効果につながらないケースも少なくありません。本講演では、現場起点で省エネ・脱炭素を進めるための全体像を整理し、AI、制御、監視といった技術をどのように組み合わせ、段階的に実装していくべきかを解説します。制度動向や実務視点も交えながら、これからのエネルギー管理の考え方を分かりやすく紹介します。

講演：一般財団法人 省エネルギーセンター 顧客支援部

講演2

30分

AIによる熱源制御と省エネ

— 脱炭素社会に向けた冷熱最適制御の導入事例 —

省エネ・脱炭素を進めるにあたり、熱源設備の運用高度化は非常に大きなインパクトを持つ一方で、どのように実現するのか具体的な方法にお悩みの会社が多いと思います。本講演では東京ガスが開発したAIを用いた社内施設での実証試験事例をもとに、「安定操業」と「運用高度化」を実現するAI導入のステップやポイントを解説します。

講演：東京ガス ソリューション事業創造部 エッジ&クラウド事業グループ 内田 潤一

講演3

30分

監視システムによるエネルギー運用の高度化

— JoyWatcherSuite 導入事例に見る省力化の実践 —

AIや高度な制御を効果的に活用するためには、設備の状態を把握し、安定的に運用するための監視・管理基盤が欠かせません。本講演では、東京ガスが開発・販売するSCADAソフト「JoyWatcherSuite」を活用して構築した、成田国際空港のエネルギー供給会社におけるエネルギー監視システム導入事例をもとに、エネルギー運用の高度化・省力化の実践的なポイントを解説します。

講演：東京ガス ソリューション事業創造部 エッジ&クラウド事業グループ 今村 天

講演の合間に、休憩をとる予定です。セミナー講演終了後、15:50ごろからQ&Aの実施を予定しております。

お申込み確認後、事務局より Zoom の **招待メール** を送信いたします。

要事前申込

お問い合わせ

省エネルギーセンター 顧客支援部 ◆メール seminariyukousya@eccj.or.jp

※本セミナーに関する電話でのお問い合わせについてはご対応しておりません。

参加お申し込みはこちらの「**WEB**」フォームをご利用ください。

テキストの事前配布は行いません。ご希望の方は、セミナー終了後各講演企業にご連絡ください。申し込みフォームがご利用いただけない場合は上記アドレスに **メールにてお申込みください**。

※本セミナーを受講するには、パソコン等をインターネットに接続できる環境が必要です。

申し込み
締めきり日
3/2

